

「阪神淡路大震災の記憶」

～耐震補強が命を守る～



主催：(公社)兵庫県建築士会姫路支部

1995年1月17日未明に発生した阪神淡路大震災から4半世紀が過ぎ、世代交代とともに遠い過去へと忘れされつつあります。阪神淡路大震災以降も東日本大震災をはじめ多くの大地震が発生していますが、ここ播磨地方では今のところ平穏に感じられます。「天災は忘れた頃にやってくる」科学者であった寺田寅彦先生の警句です。東南海地震が近い将来発生するのは間違いないのですが、今の科学技術では、地震の発生を正確に予測することはできません。我々に家族を守るために今できることは、地震への備えをしておくことです。阪神淡路大震災では約6400名の方が亡くなりましたが、そのうち半数以上の方が木造家屋の倒壊が起因によるものです。今回の講演会では、神戸市で被災され、「命を守る」「減災」をテーマに木造家屋の耐震診断・耐震補強の推進・研究に取り組み、書籍の出版もされている稲毛政信先生に、阪神淡路大震災での実体験と耐震補強の必要性についてお話ししていただきます。

記

■日時： 1月16日(日) 午後3時00分～5時00分 (受付開始：午後2時30分)

■講師： 稲毛 政信 神戸大学建築学科卒、京都大学建築研究科修士課程修了
(いなげ まさのぶ) 神戸市役所を経て、現在、木造住宅耐震改修推進研究所所長
一級建築士

■参加料： 無 料

■会場： 兵庫県立ものづくり体験館2階
(姫路市市之郷1001-1)

■定員： 40名(先着順)

12月30日締め切り(定員になり次第締め切りとなります。)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、座席間隔を確保するため、定員を限定させていただきます。

※当日はマスクの着用をお願いいたします。

※会場は上履きのため、靴を入れるビニール袋をご用意をお願いします。



1月16日(日)「阪神淡路大震災の記憶～耐震補強が命を守る～」講演会 申込書

氏名		氏名フリガナ	
住所		勤務先 学校など	
電話		メールアドレス	

FAX 079-222-7120

MAIL himeji@hyokenkyo.or.jp

FAXまたはメールでお申し込みください。

建築士会姫路支部 構造学習会幹事 石原宛